

令和7年（2025）7月
入域観光客数概況（確定版）

94万7,600人
対前年（R6）同月比 +3万2,200人、+3.5%
※過去最高年度（R元）同月比 ▲R元年度16,000人、▲1.7%

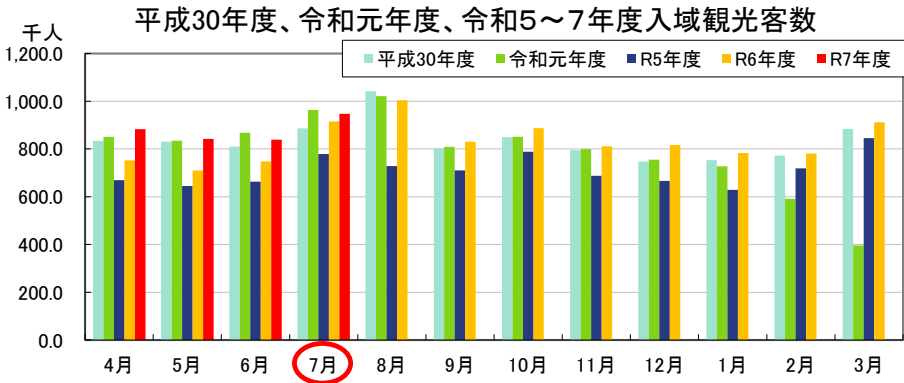
【更新履歴】①令和7年8月25日速報版公表
②令和7年10月27日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	704,200 人	692,300 人	+ 11,900 人	+ 1.7%	74.3%	660,800人
空路	701,900 人	689,700 人	+ 12,200 人	+ 1.8%	74.1%	653,900人
海路	2,300 人	2,600 人	△ 300 人	△ 11.5%	0.2%	6,900人
外国客	243,400 人	223,100 人	+ 20,300 人	+ 9.1%	25.7%	302,800人
空路	177,600 人	134,100 人	+ 43,500 人	+ 32.4%	18.7%	174,000人
海路	65,800 人	89,000 人	△ 23,200 人	△ 26.1%	6.9%	128,800人
合計	947,600 人	915,400 人	+ 32,200 人	+ 3.5%	100.0%	963,600人

※外国客には、海路における乗務員等18,800人を含む。



国内客 入域状況

7月は、航空会社の増便・臨時便・季節運航があったことのほか、「ジャングリア沖縄」が開業（7/25）したことや花火大会等の県内各種イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	353,400 人	347,800 人	+ 5,600 人	+ 1.6%	50.2%
関西方面	147,400 人	148,700 人	△ 1,300 人	△ 0.9%	20.9%
福岡方面	84,400 人	81,800 人	+ 2,600 人	+ 3.2%	12.0%
名古屋	63,600 人	56,700 人	+ 6,900 人	+ 12.2%	9.0%
その他	55,400 人	57,300 人	△ 1,900 人	△ 3.3%	7.9%
合計	704,200 人	692,300 人	+ 11,900 人	+ 1.7%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	28,000	50%	18,100	51%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	11,600	21%	7,000	20%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	7,000	13%	4,200	12%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,700	3%	1,100	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	500	1%	400	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	7,200	13%	4,700	13%	
合計	56,000	100%	35,500	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

7月は、クルーズ船の寄港回数は前年よりも減少したが、石垣ー台北路線（7月17日～）の新規就航等があったことから、前年同月を上回った。
8月以降については、下地島ー台北路線（8月22日～10月25日）の新規就航があったことや、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【韓国】エアロKは那覇ー清州路線（10月1日～）を週7便で新規就航予定。同路線の定期便運航は初めて。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	116,300 人	91,300 人	+ 25,000 人	+27.4%	47.8%
韓国	42,100 人	38,000 人	+ 4,100 人	+10.8%	17.3%
中国本土	34,800 人	42,000 人	△ 7,200 人	△17.1%	14.3%
香港	18,100 人	16,800 人	+ 1,300 人	+7.7%	7.4%
アメリカ	3,200 人	2,100 人	+ 1,100 人	+52.4%	1.3%
タイ	1,900 人	1,600 人	+ 300 人	+18.8%	0.8%
シンガポール	1,200 人	900 人	+ 300 人	+33.3%	0.5%
その他	25,800 人	30,400 人	△ 4,600 人	△15.1%	10.6%
合計	243,400 人	223,100 人	+ 20,300 人	+9.1%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等18,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	83,200 人	59,100 人	+40.8%	46.8%	33,100 人	32,200 人	+2.8%	50.3%
韓国	42,000 人	38,000 人	+10.5%	23.6%	100 人	0 人	皆増	0.2%
中国本土	22,900 人	12,200 人	+87.7%	12.9%	11,900 人	29,800 人	△60.1%	18.1%
香港	16,900 人	15,700 人	+7.6%	9.5%	1,200 人	1,100 人	+9.1%	1.8%
アメリカ	3,100 人	1,900 人	+63.2%	1.7%	100 人	200 人	△50.0%	0.2%
タイ	1,800 人	1,600 人	+12.5%	1.0%	100 人	0 人	皆増	0.2%
シンガポール	1,000 人	900 人	+11.1%	0.6%	200 人	0 人	皆増	0.3%
その他	6,700 人	4,700 人	+42.6%	3.8%	19,100 人	25,700 人	△25.7%	29.0%
合計	177,600 人	134,100 人	+32.4%	100.0%	65,800 人	89,000 人	△26.1%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等18,800人を含む。

